

湧水だより

令和6年正月 (No. 12)
渡里湧水群を活かす会
会長 篠原 光

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年は各種行事も通常に近い形で実施できるようになり、皆様と共に活動できましたことを嬉しく思います

さて、令和6年は、当会発足から満10年を迎えます。ツタにからまった竹を切り出しながらの遊歩道作り、膨大な不法投棄ゴミの撤去などで始まった当会活動の数々の光景は、会員共有の心のアルバムになっているものと思います。

渡里湧水群一帯に再び陽を当て、様々な活用への道を拓いていこうとする私たちの理念と活動は、内閣総理大臣賞受賞や水戸市からの継続的な支援などの形で認められてきました。

10年の節目となる今年からは、新たなステージ（開拓から持続へ等）で、「無理せず、楽しく」当会の活動を続けていきたいと考えます。引き続きご協力をお願いします。

日本名水百選 栃木県佐野市出流原弁天池をメインとした視察研修に26名が参加。(11月20日)



野木山緑地公園一帯の清掃とあぜ道への砕石敷設、湧水7か所の案内看板交換、枯竹の運び出しなどの作業



11時30分より高橋靖水戸市長、加藤明良参議院議員、小泉康二水戸市議会議員と共に総勢51名



熱々の常陸牛入り芋煮と手作りこんにゃくの大玉味噌おでんで温まりながらカラオケで盛り上がりました。

※令和6年2月17日と翌18日、内原の「イオンモール」にて開催される、こみっとフェスティバルにて、「渡里湧水群を活かす会」の動画による活動報告が発表されます。ぜひご来場ください。